

第1回 岐阜市未来のまちづくり構想改定に向けた有識者ヒアリング

R7.5.26（月）13:00～15:00（於：岐阜市役所 12階 第1・第2研修室）

2040年頃を見据えたまちづくりの総合的な方針

○計画期間

R4年4月～R22年（2040年）度

⇒65歳以上のシニア世代の人口がピークとなる等、
日本全体や岐阜市の人口構造の変化における
大きな局面が予想される時期

○構成

2040年頃の「将来像」とそれを実現するための
「まちづくりの方向性」で構成

○将来像

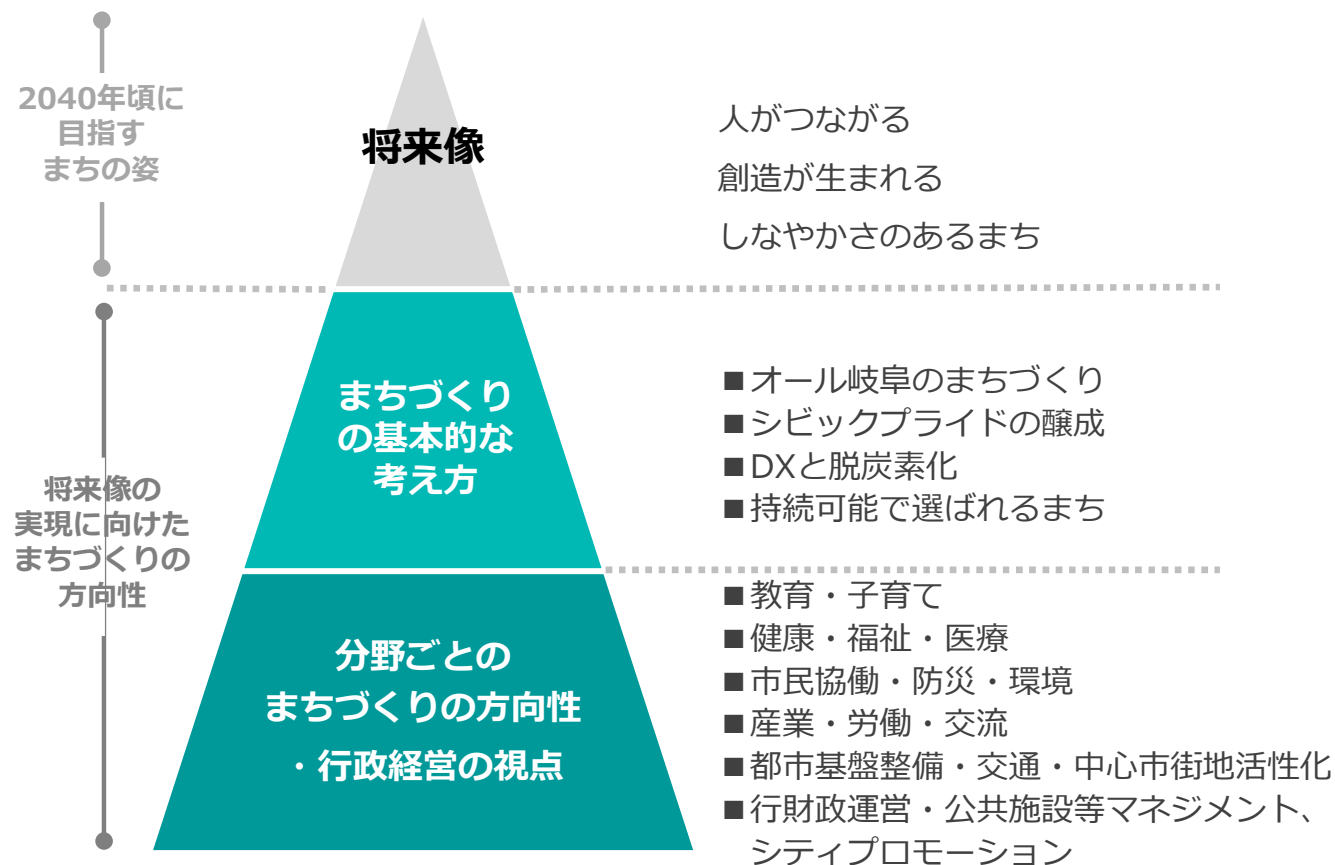
人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち



■時代背景及びまちづくり構想の改定の方方向性

- ・ **新型コロナウイルスの収束、生成AIの普及など時代は日々変化**
- ・ 国内外の社会情勢の変化に柔軟に対応して、本構想に掲げる将来像の実現に向けてオール岐阜で取組む

「将来像の実現に向けたまちづくりの方方向性」の**大枠は堅持しつつ**、
策定時に見通せなかった**新たな視点の追加、施策や行政経営の視点をアップデート**



時代背景を踏まえ
アップデート

■本ヒアリングの目的及びスケジュール

様々な分野に知見をお持ちの有識者から
2040年頃を見据えた際に必要な視点に係るご意見を頂戴することで、
まちづくり構想改定の参考とするもの

回 本日	分野（テーマ）	日 程	場 所
第1回	健康・福祉・医療	R7年5月26日（月） 13:00～15:00	岐阜市役所 第1・第2研修室（12階）
第2回	産業・労働・交流	R7年7月7日（月） 14:00～16:00	岐阜市役所 第1・第2研修室（12階）
第3回	市民協働・防災・環境	R7年8月5日（火） 15:30～17:30	岐阜市役所 6-1大会議室（6階）
第4回	教育・子育て	R7年8月26日（火） 13:30～15:30	岐阜市役所 6-1大会議室（6階）
—	都市基盤整備・交通・ 中心市街地活性化	未定	未定
—	分野横断的視点	R7年11月14日（金） 14:00～16:00	岐阜市役所 6-1大会議室（6階）

■ 第1回有識者一覧 ※ご講演の順

お名前（ふりがな）	プロフィール、ご講演テーマ
石山 恒貴 様 （いしやま のぶたか）	法政大学大学院地域創造インスティテュート 兼 政策創造研究科 教授 ・ NEC、GE、米系ライフサイエンス会社を経て、現職 ・ 越境的学習、キャリア形成、人的資源管理、タレントマネジメント等が研究領域 ・ 日本キャリアデザイン学会副会長、人材育成学会常任理事、日本女性学習財団理事、フリーランス協会アドバイザリーボード <テーマ> ジョブ・クラフティングの実践等を通じたシニア世代のWell-being向上
石見 拓 様 （いわみ たく）	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 教授 一般社団法人PHR普及推進協議会 代表理事 ・ 2006年4月より京都大学保健管理センター（2011年4月より環境安全保健機構に改名）助教 同講師、同准教授を経て2015年より教授、2022年4月より医学研究科教授、現在に至る ・ 循環器内科、蘇生科学、予防医療学が専門領域 ・ 一般社団法人PHR普及推進協議会の代表理事としてPHRの適正な普及と社会実装を推進 <テーマ> PHRを活用した本人主体の健康・医療・介護DXで実現する健康社会
【有識者・進行役】 大原 基秀 様 （おおはら もとひで）	岐阜市スタートアップ支援事業 センター長 岐阜大学社会システム経営学環 特任教授

■ 次第・配付資料一覧

(次第)

- | | | |
|---|--------|---------|
| 1 | 開会 | 13時00分 |
| 2 | 概要説明 | <約5分> |
| 3 | 有識者ご講演 | <約70分> |
| 4 | 意見交換 | <約40分> |
| 5 | 閉会 | 15時00分頃 |

(配付資料一覧)

- ・ 岐阜市作成資料（※本資料）
- ・ 有識者提出資料①（石山 恒貴 様）
- ・ 有識者提出資料②（石見 拓 様）

■現状認識等に関する資料目次

1 現状認識

- (1) 2040年頃にかけて見込まれる国内の主な変化と課題 7
- (2) 人口 8
- (3) 社会動態と自然動態 10
- (4) 少子高齢化 14
- (5) 経済成長 16
- (6) 地球温暖化・気候変動 18

2 健康・福祉・医療に関する本市の主なデータや取組みなど

- (1) 主なデータ 20
- (2) 主な計画・取組み 27

1 (1) 2040年頃にかけて見込まれる国内の主な変化と課題

人口構造

・人口減少の進展

2040年頃には国内全体で**毎年約90万人が減少**

※ 2040年の人口推計：約1億1,300万人（2020年比 約▲10%）

・生産年齢人口の減少

減少幅の増大による**サービス**の提供や地域の**経済活動の停滞**

※ 2040年の生産年齢人口推計：約6,200万人（2020年比 約▲17%）

・高齢者人口の増加

特に介護需要が高まる**85歳以上人口**が2015年比で**倍増し、1,000万人超**

※ 2040年の85歳以上人口推計：約1,000万人（2020年比 約+65%）

インフラや都市空間

・技術進展への対応

Society 5.0の到来を始めとした**技術進展**により、課題解決の可能性が広がるが、**地方での人材育成やインフラ整備が課題**

・インフラの老朽化

高度経済成長期に集中的に整備したインフラの**更新需要**と多大な**財政負担**

・都市のスポンジ化

都市的土地利用の面積は増加傾向が継続し、**空き地・空き家が増加**

自然環境等

・大規模地震のリスク

南海トラフなど**大規模地震**が高い確率で発生する見込

※ 南海トラフ地震の発生確率：**30年以内に80%程度**

・風水害のリスク

地球温暖化に伴う**気候変動**により広域かつ**甚大な風水害**が頻発

1 (2) 人口

- ・世界の人口：アジア、アフリカ地域を中心に増加

⇒ 2020年 78億人 → 2040年 92億人（2050年 96億人）

- ・日本の人口：2008年を境に減少

⇒ 2020年 1.26億人 → 2040年 1.13億人（2056年頃 1億人下回る）

今後さらに少子高齢化が進展

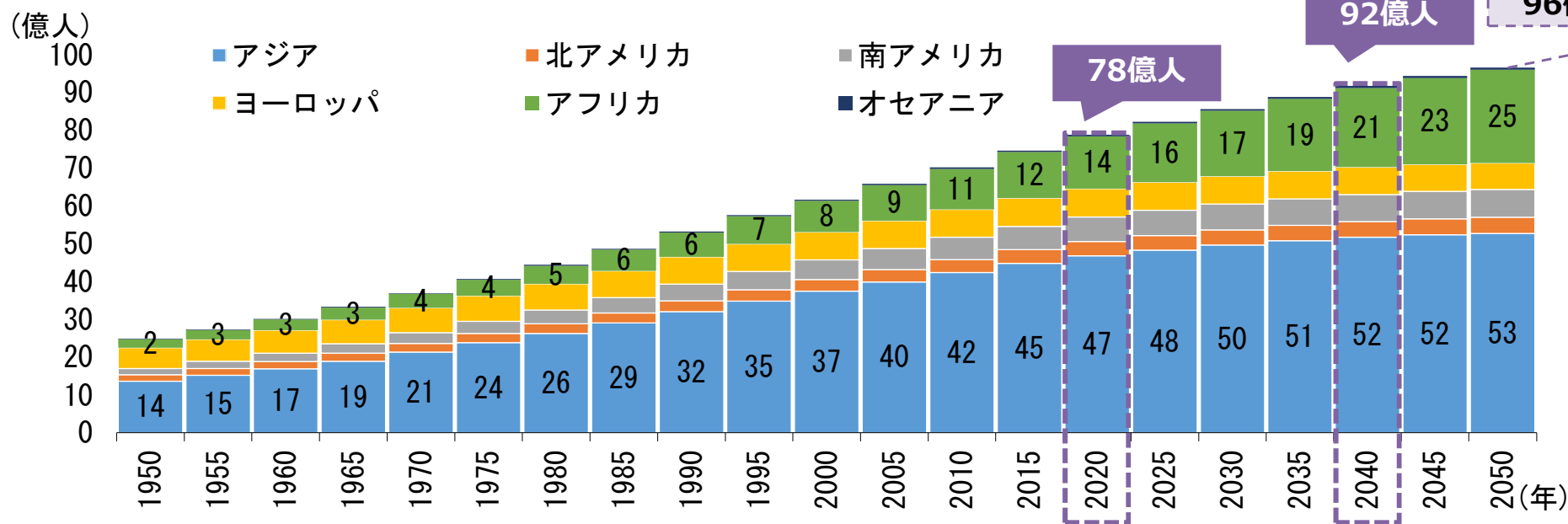
⇒ 高齢化率 2020年 29% → 2040年 35%（2060年 38%）

- ・岐阜市人口：2020年 40万人 → 2040年 35万人（2020年比 5万人減）

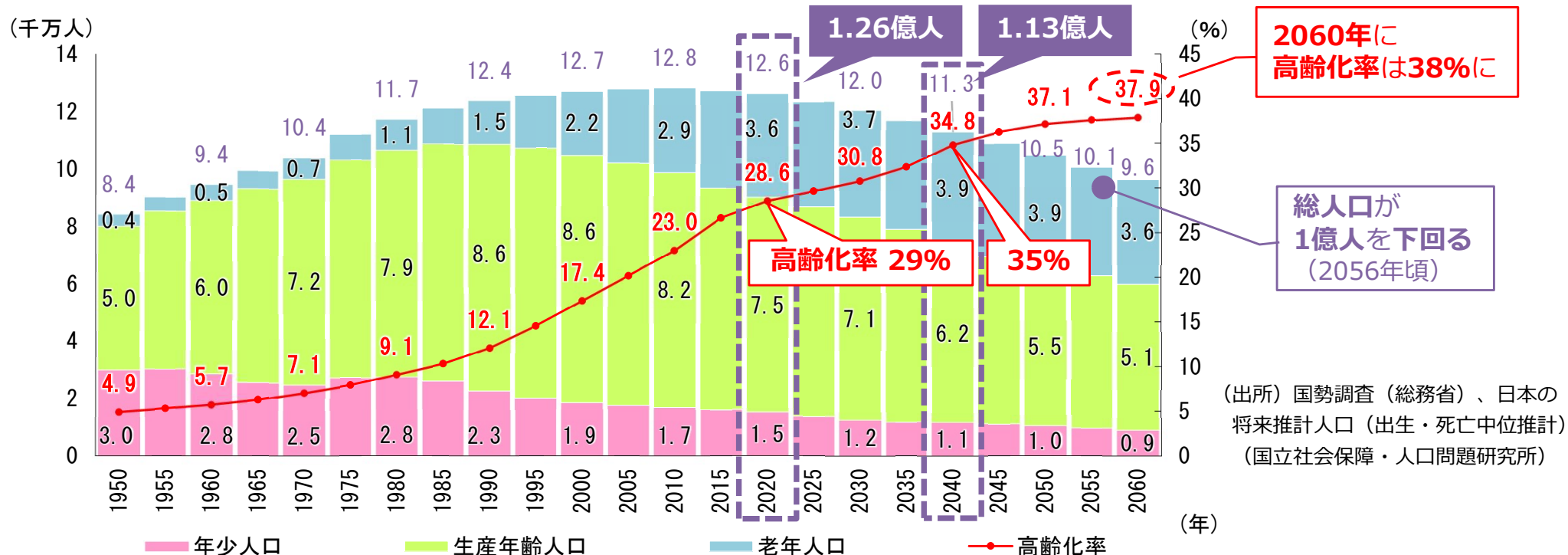
高齢者（老年人口）の割合 2020年 29% → 2040年 36%

生産年齢人口の割合 2020年 58% → 2040年 53%

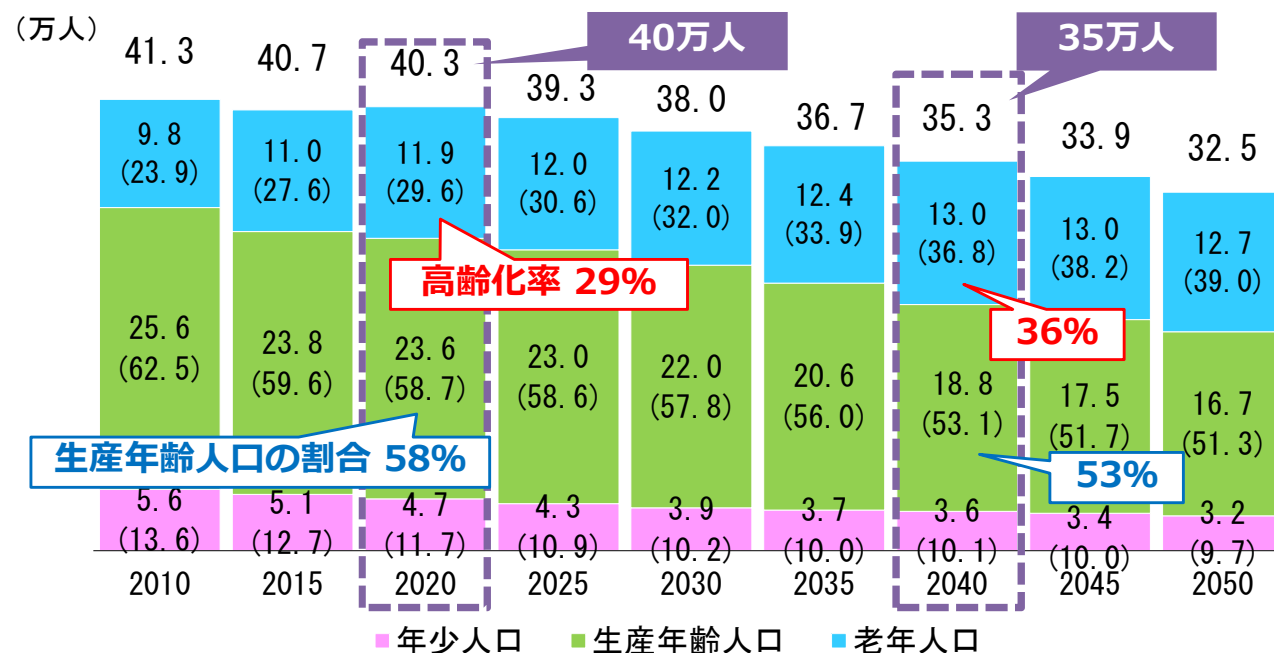
①世界の地域別人口の推移・推計（1950年～2050年）（出所）世界の統計 2025（総務省）



②日本の年齢階層別人口と高齢化率の推移・推計（1950年～2060年）



③岐阜市の年齢階層別人口の推移・推計（2010年～2050年）

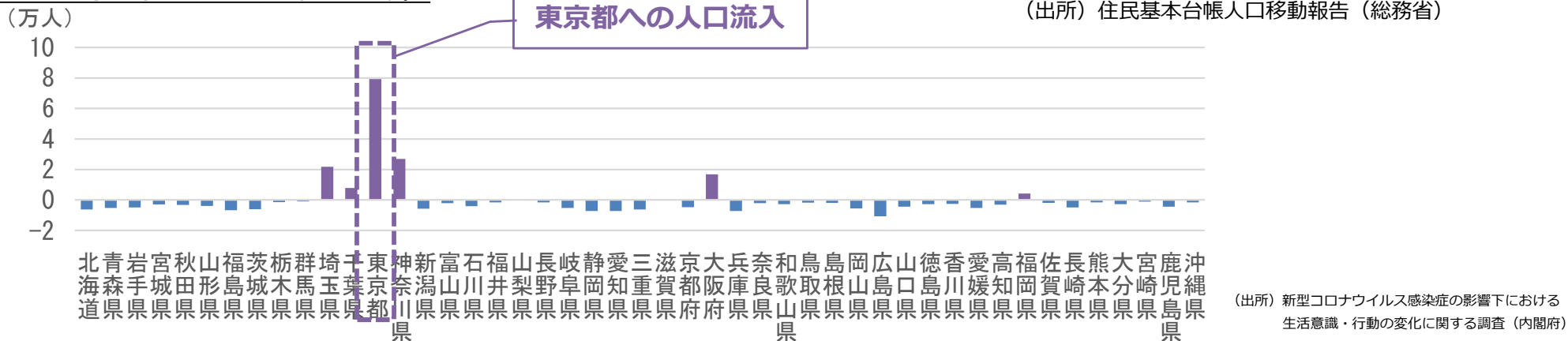


1 (3) 社会動態と自然動態

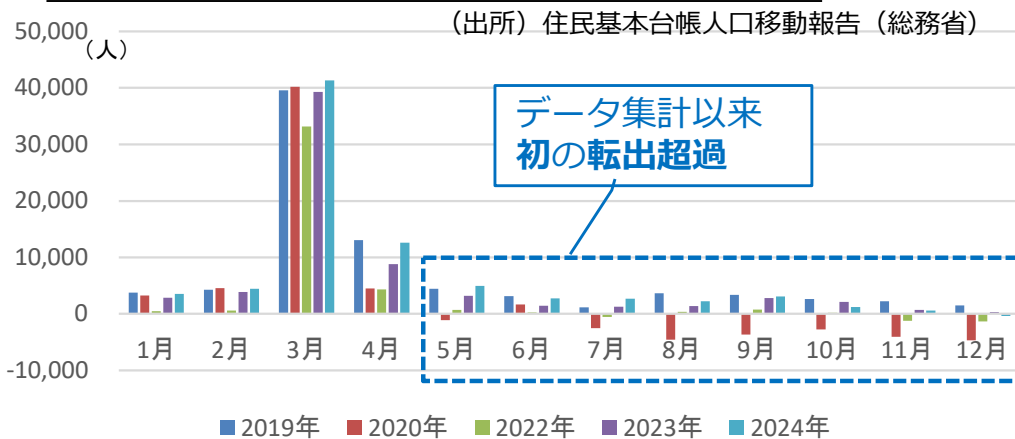
社会動態

- ・ **東京を中心とする首都圏：人口流入が続いてきた**
 - **新型コロナ**を受け、**2020年5月**、（データ集計を開始した2013年7月以降）初めて**東京都の人口が転出超過**
東京都23区内に住む**20代の地方移住への関心が高くなっている**
- ・ **岐阜市：5年ごとの社会動態にて2015-2019年の5年間でプラスに転じ、2020-2024年では大きなプラスとなった**
 - **2019年以降2021年を除き、転入超過が続いている**

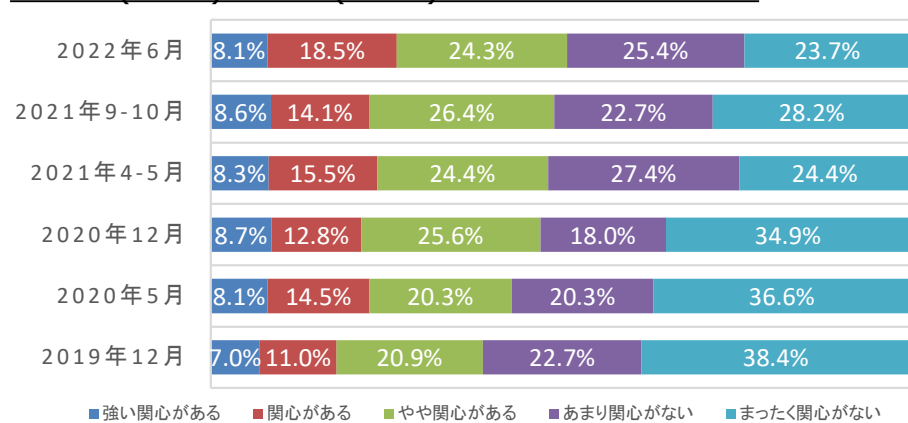
①都道府県別転入超過数（2024年）



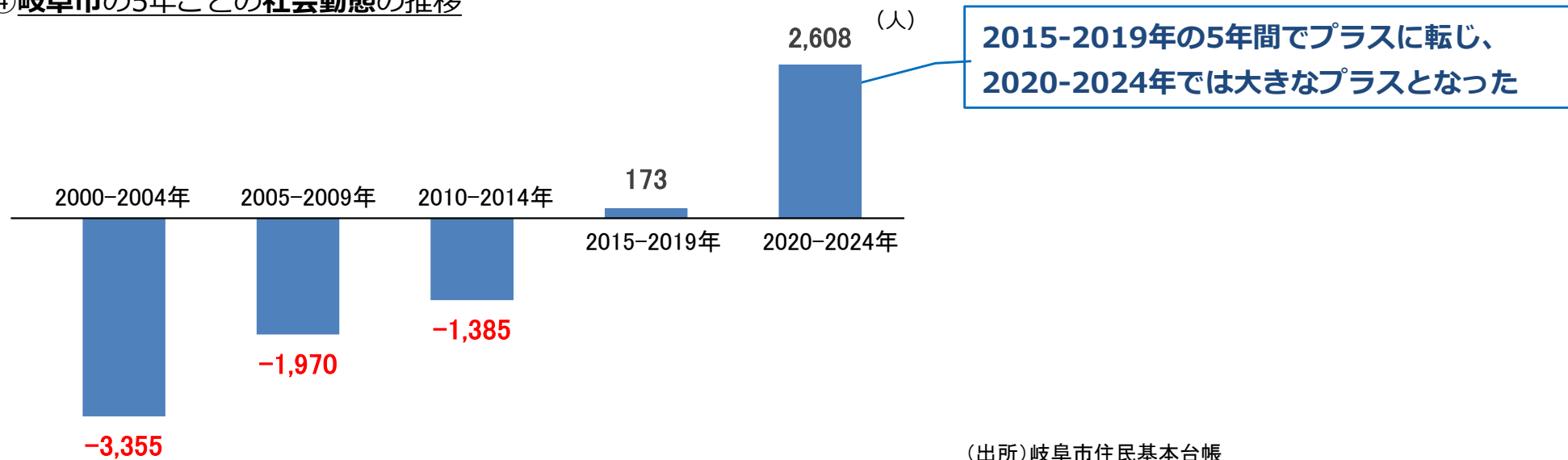
②東京都の転入超過数の推移（2019年～2024年）



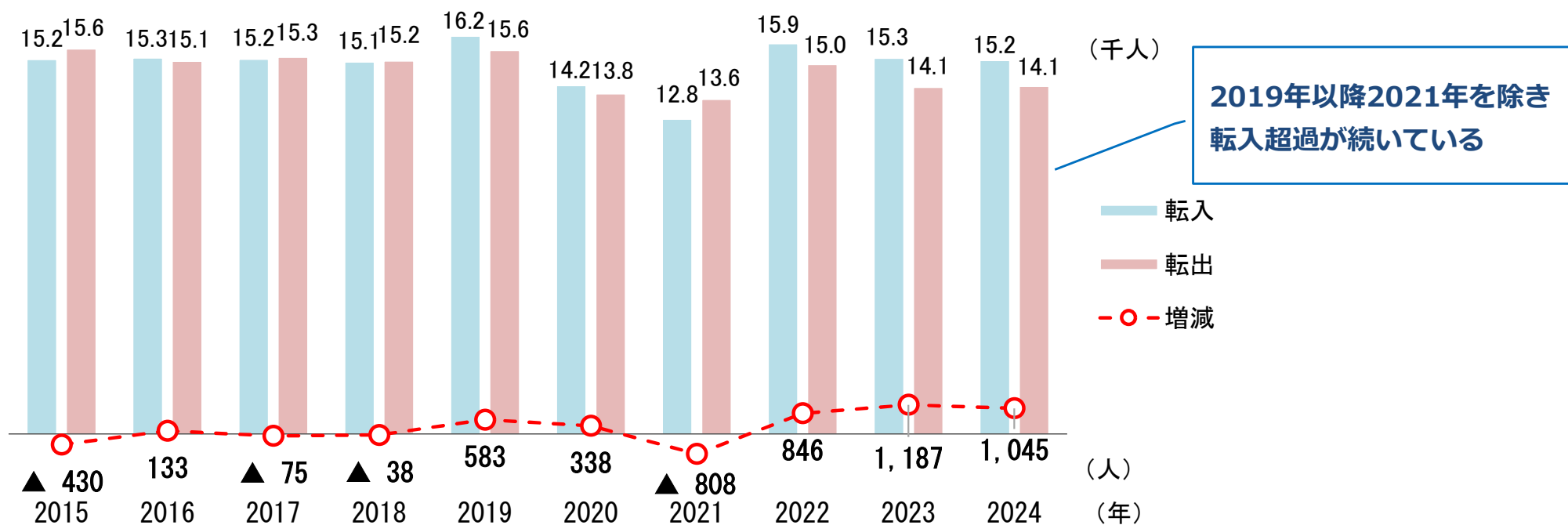
③東京都(23区)居住者(20代)の地方移住への関心



④ 岐阜市の5年ごとの社会動態の推移



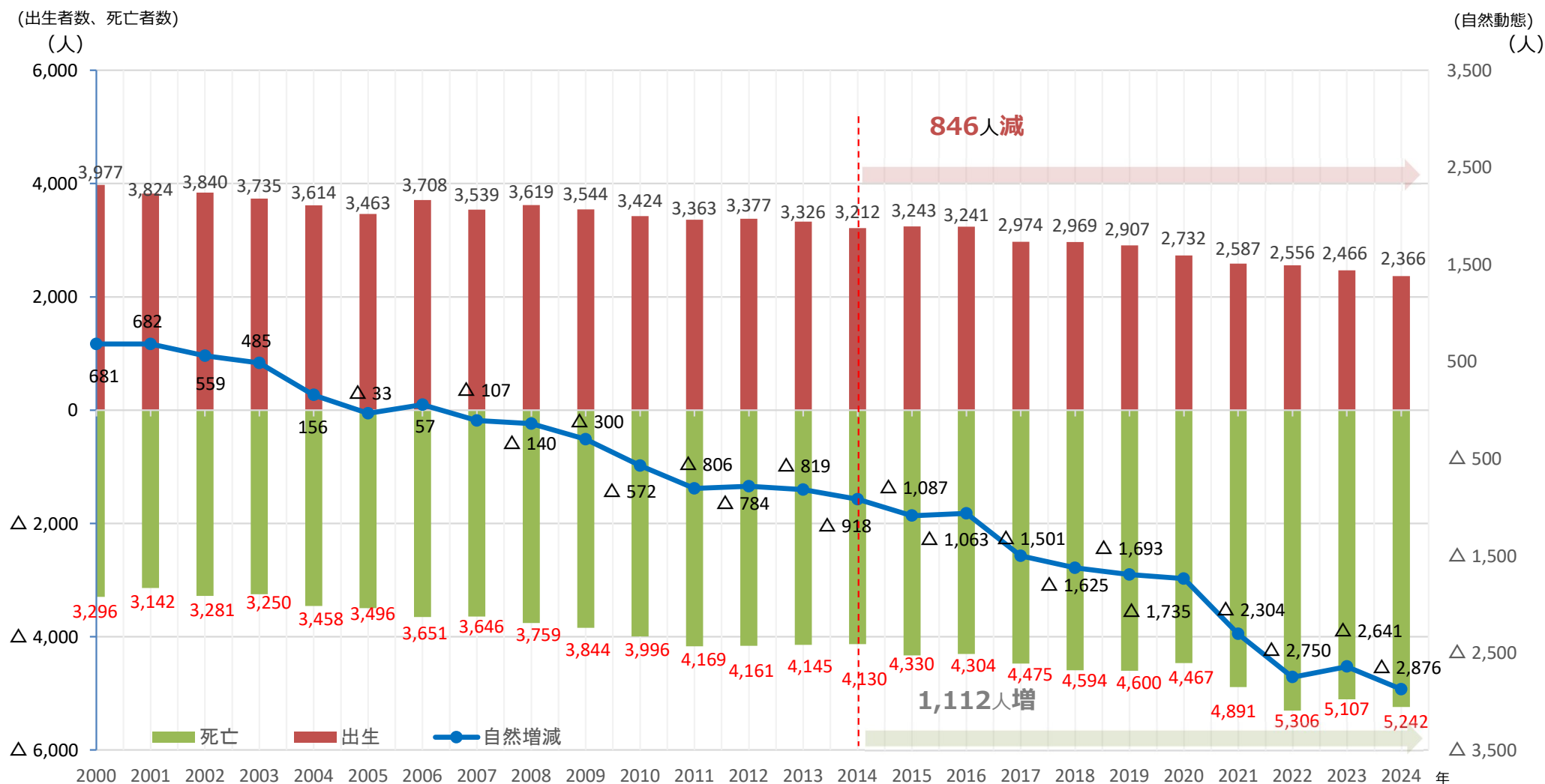
⑤ 岐阜市の各年ごとの社会動態の推移 (2015~2024年)



⑥自然動態（岐阜市）

（出所）：岐阜市統計書

- **自然動態**は、住民基本台帳に外国人人口が含まれた2014年以降※10年間（2014年と2024年比較）で、
出生者数は**846人減少**（3,212人→2,366人）し、**死亡者数**は**1,112人増加**（4,130人→5,242人）。
自然増減は**1,958人減少**（△918人→△2,876人）。

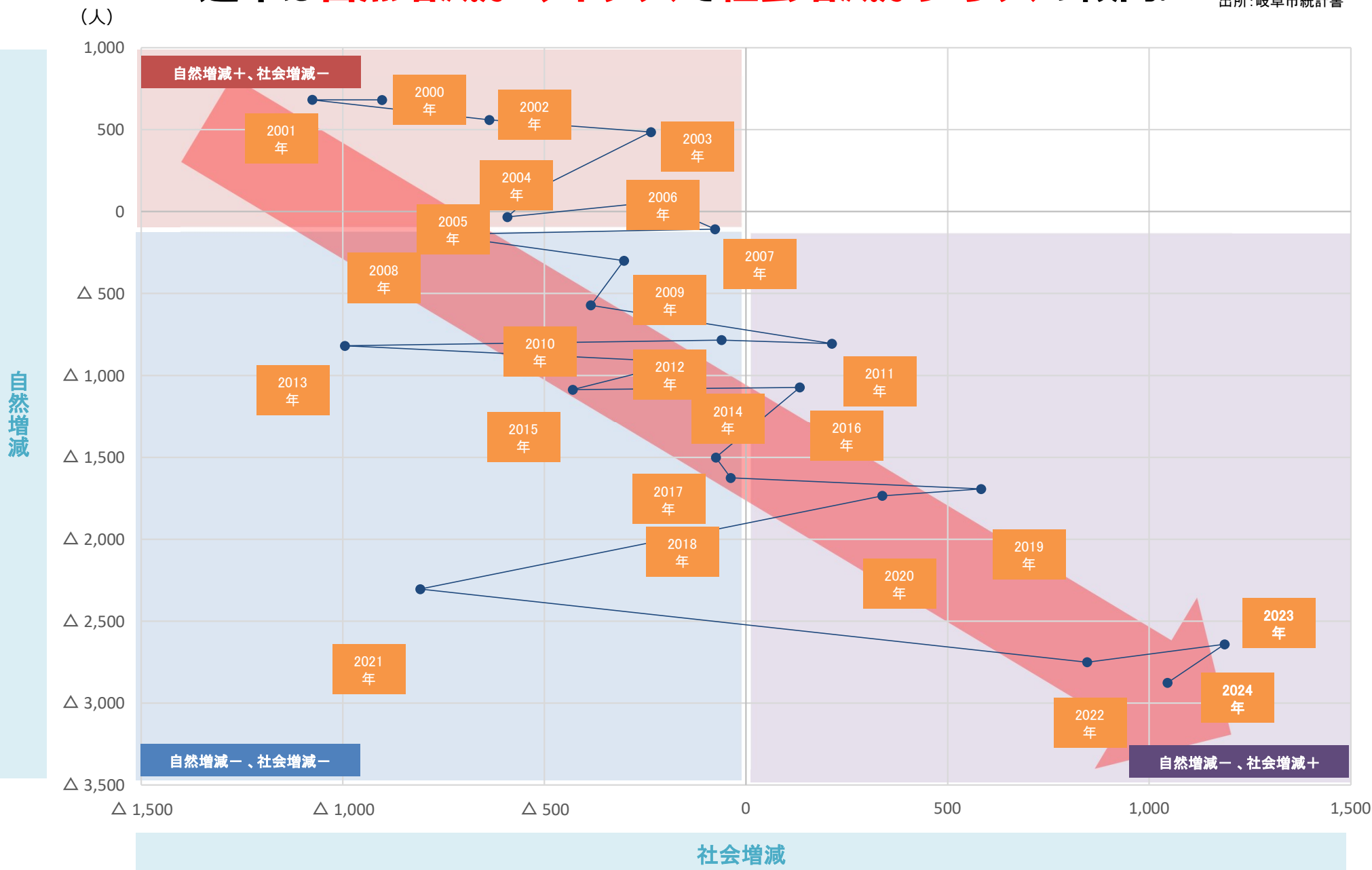


※ 住民基本台帳の改正(2012.7)以降は外国人の人口を含む。
→ 2013年以降が年間全ての数値に外国人が含まれている。

⑦社会増減と自然増減（岐阜市） - 散布図 -

近年は**自然増減がマイナス**で**社会増減がプラス**の傾向。

出所：岐阜市統計書



※ 住民基本台帳の改正(2012.7)以降は外国人の人口を含む。

1 (4) 少子高齢化

- ・ **日本：出生率は低下を続け、世界全体にみても最下位に近いレベル**

→ 1980年代まで先進諸国の中で最も低かった**高齢化率**は**急速に上昇**

2020年時点で世界で最も高い状況にあり、**今後も上昇**

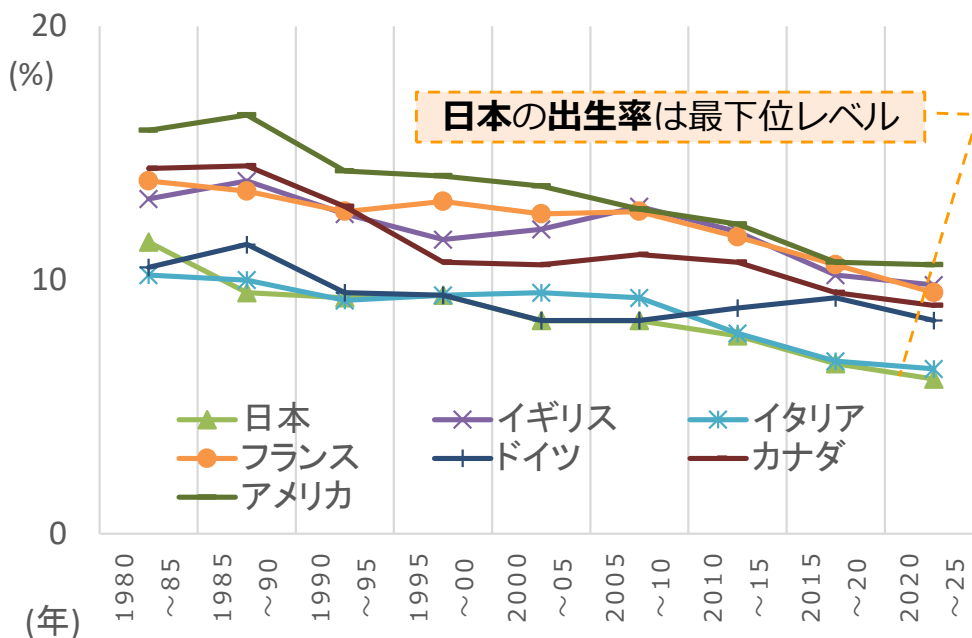
高齢世代を少ない現役世代が支える人口構造 = 逆ピラミッド型に近い構造

国内でも**地域による差が大きく**、その差は**出生率に連関**

- ・ **岐阜市：出生率、人口構造ともに全国平均に近い**

① 主要国の出生率の推移（1980年～2025年）

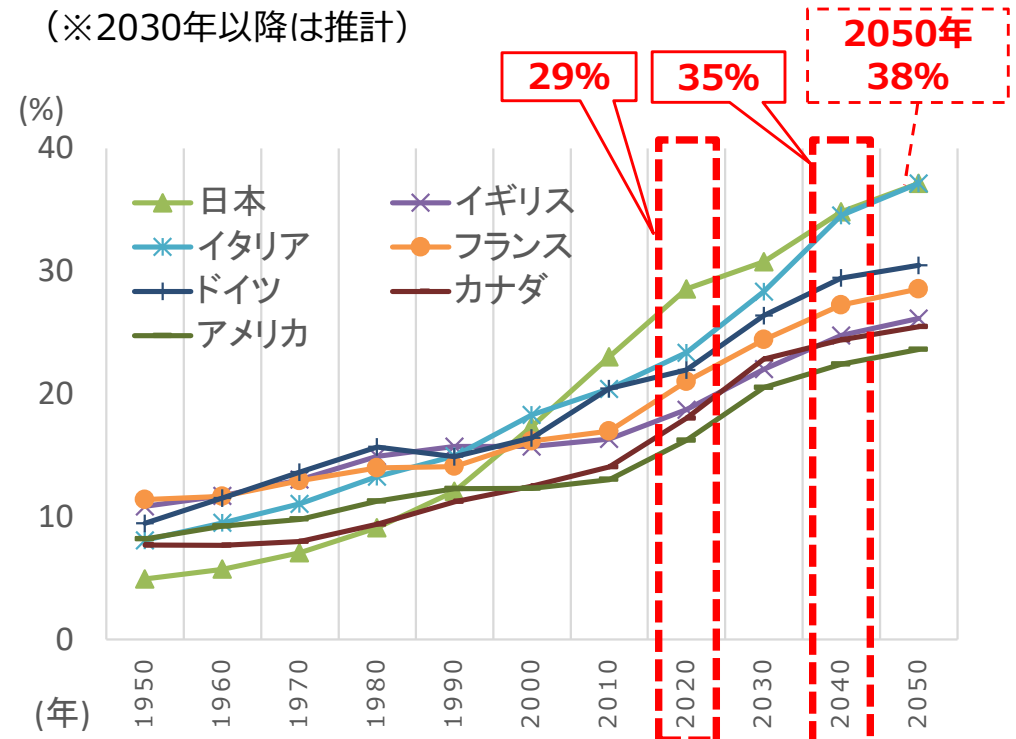
（※2020年以降は推計）



※ 出生率：人口千人に対する出生数の割合 （出所）世界の統計 2025（総務省）

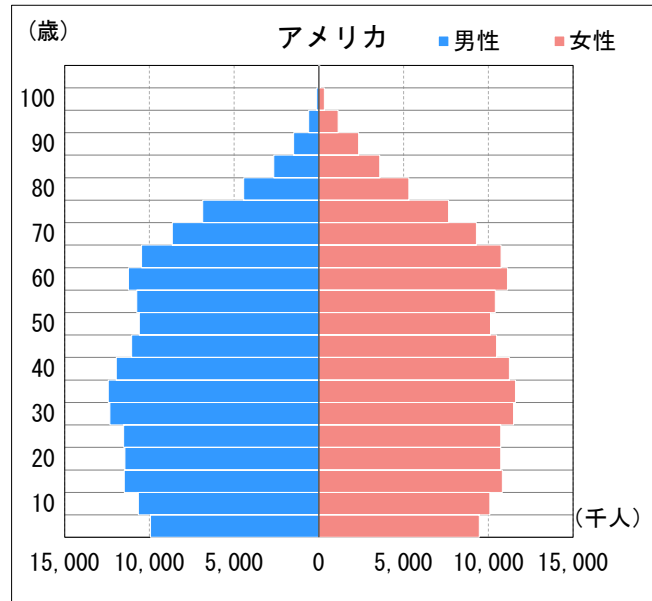
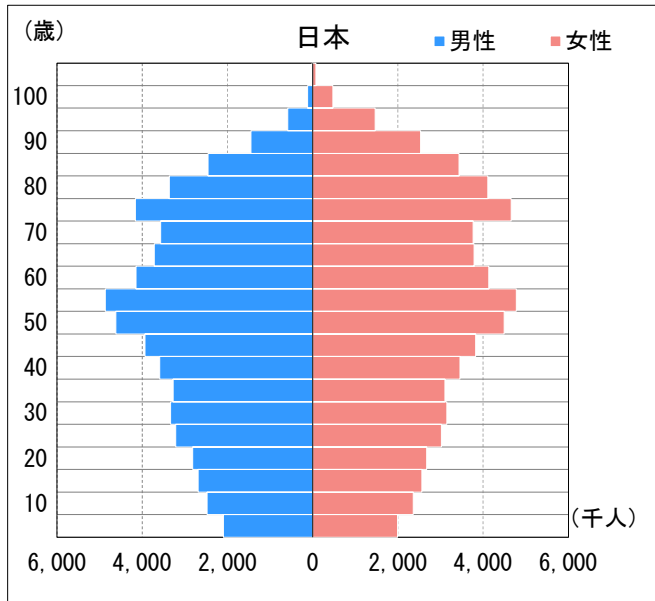
② 主要国の高齢化率の推移（1950年～2050年）

（※2030年以降は推計）



（出所）2024年版 人口統計資料集（国立社会保障・人口問題研究所）

③日本・アメリカの人口ピラミッド比較（2020年）



(出所) 世界の統計 2025 (総務省)

先進国の中で最も出生率が高く
高齢化率の低いアメリカとの
年齢階層別人口の比較

→ **日本は逆ピラミッド型に近く、
高齢世代を、少ない現役世代が
支える構造**

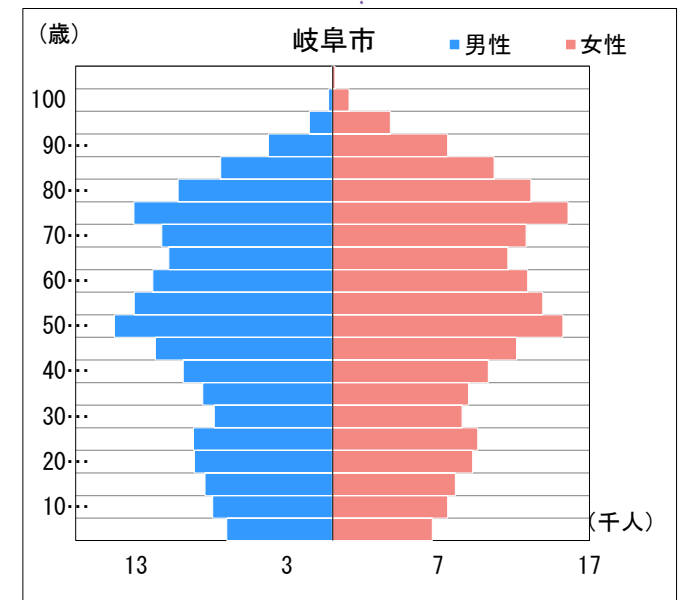
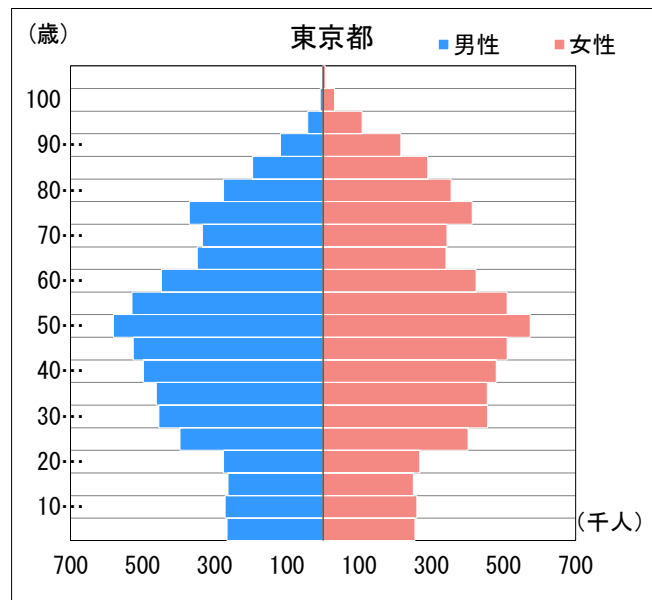
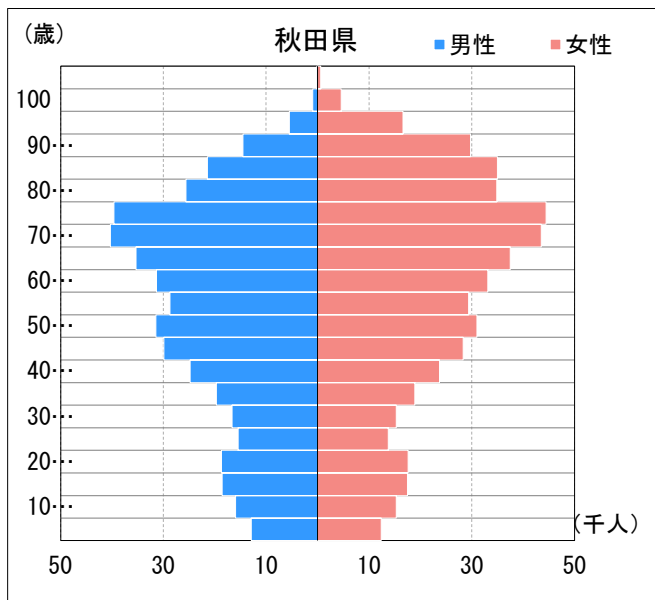
少子高齢化の状況は国内でも地域差



高齢化率の最も高い秋田県と最も低い
東京都では大きく**人口構造が異なる**

→ **岐阜市は全国平均に近い形**

④秋田県・東京都・岐阜市の人口ピラミッド（2020年）比較

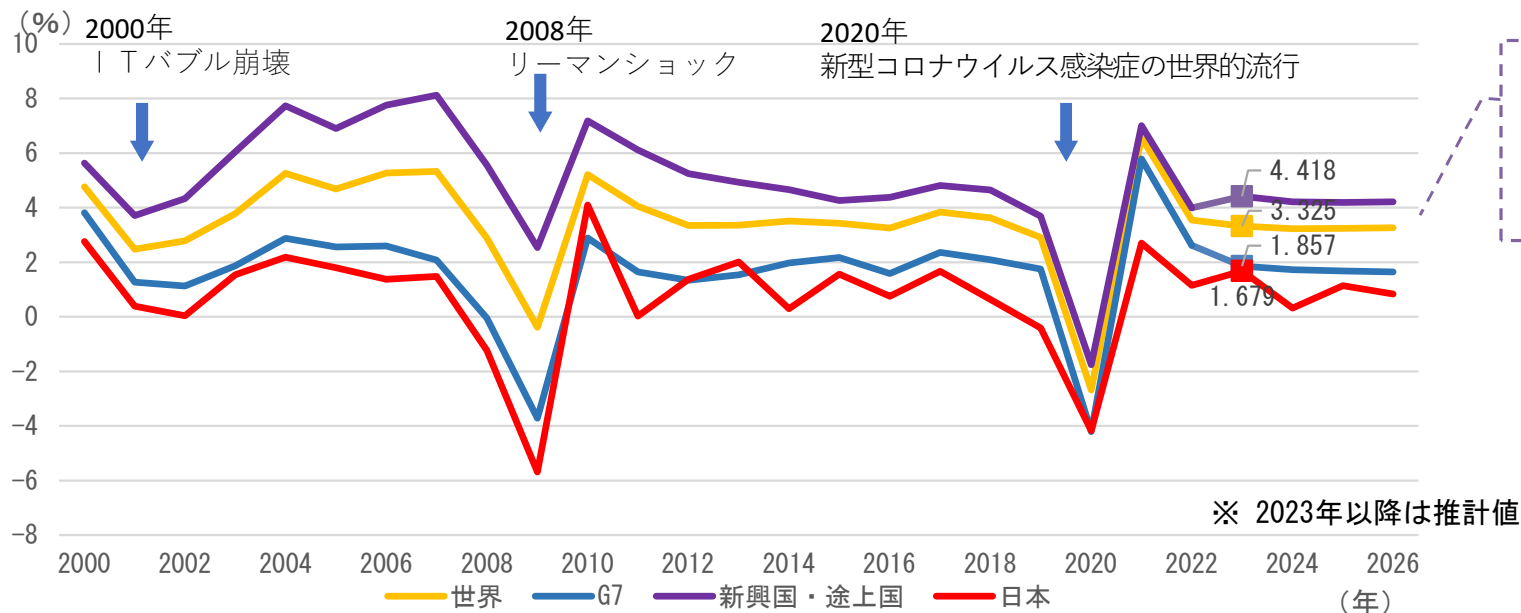


(出所) 国勢調査 (総務省) **15**

1 (5) 経済成長

- ・ **世界経済**：2020年のコロナショックによる急速な悪化から持ち直し
→ **世界全体で3%、G7で2%前後の実質GDP成長率**を維持
- ・ **日本経済**：2020年のコロナショックから**回復**をしたものの、**成長率は下落傾向**
- ・ **岐阜市経済**：第三次産業中心の産業構造
新型コロナウイルスによる、落ち込みはあったものの、**回復傾向**にある

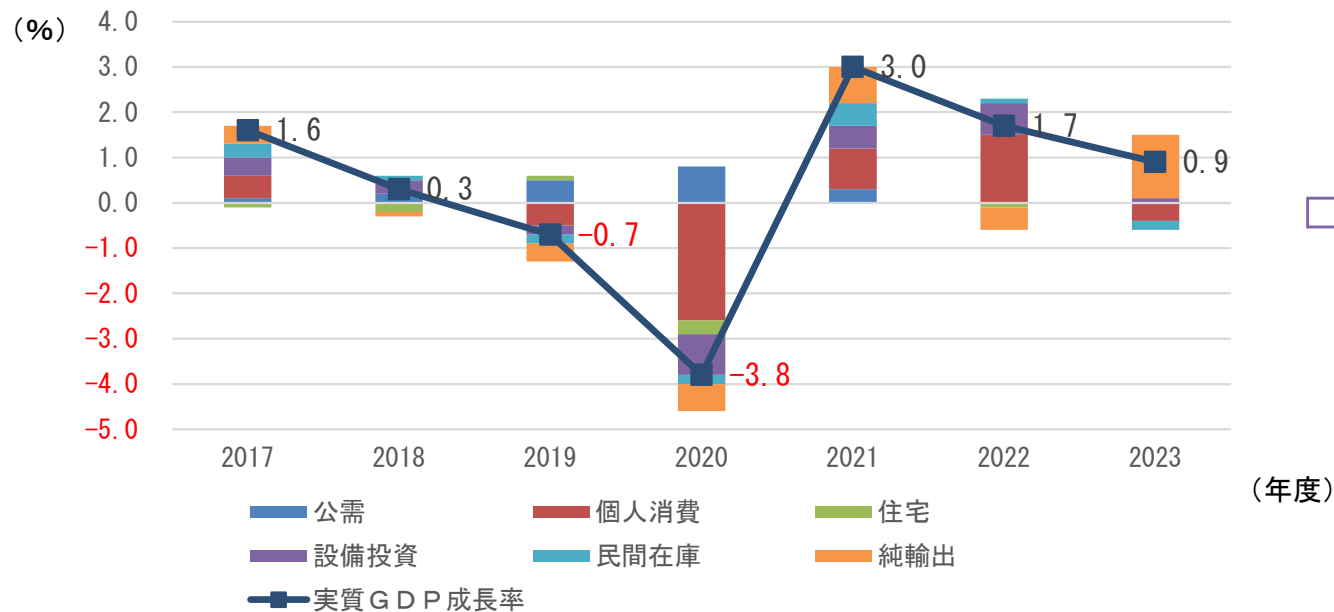
①世界の実質GDP成長率の推移（2000年～2026年）



2020年のコロナショック
前の水準に戻る

(出所) World Economic Outlook
Database, October 2024 (IMF)

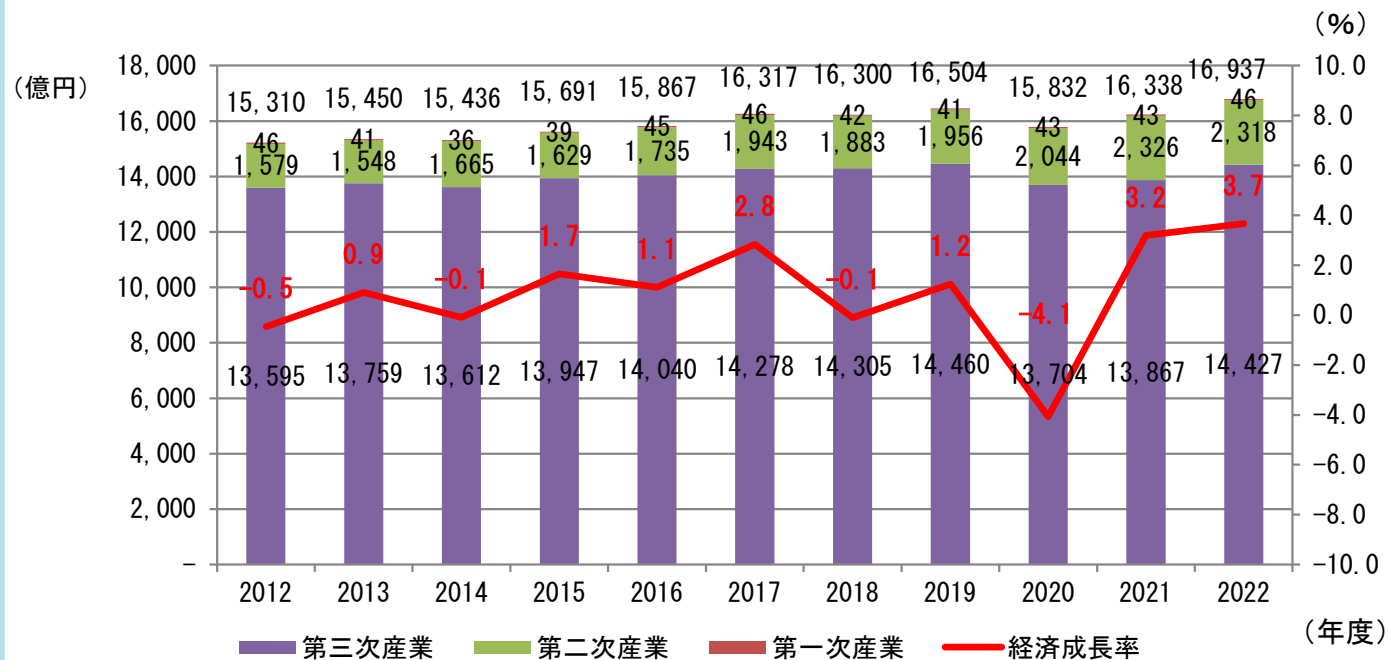
②日本の実質GDP成長率（年度別）の推移（2017年度～2023年度）



2020年のコロナショックから回復をしたものの、成長率は下落傾向

(出所) 国民経済計算（GDP統計）（内閣府）

③岐阜市内総生産（年度別）の推移（2012年度～2022年度）



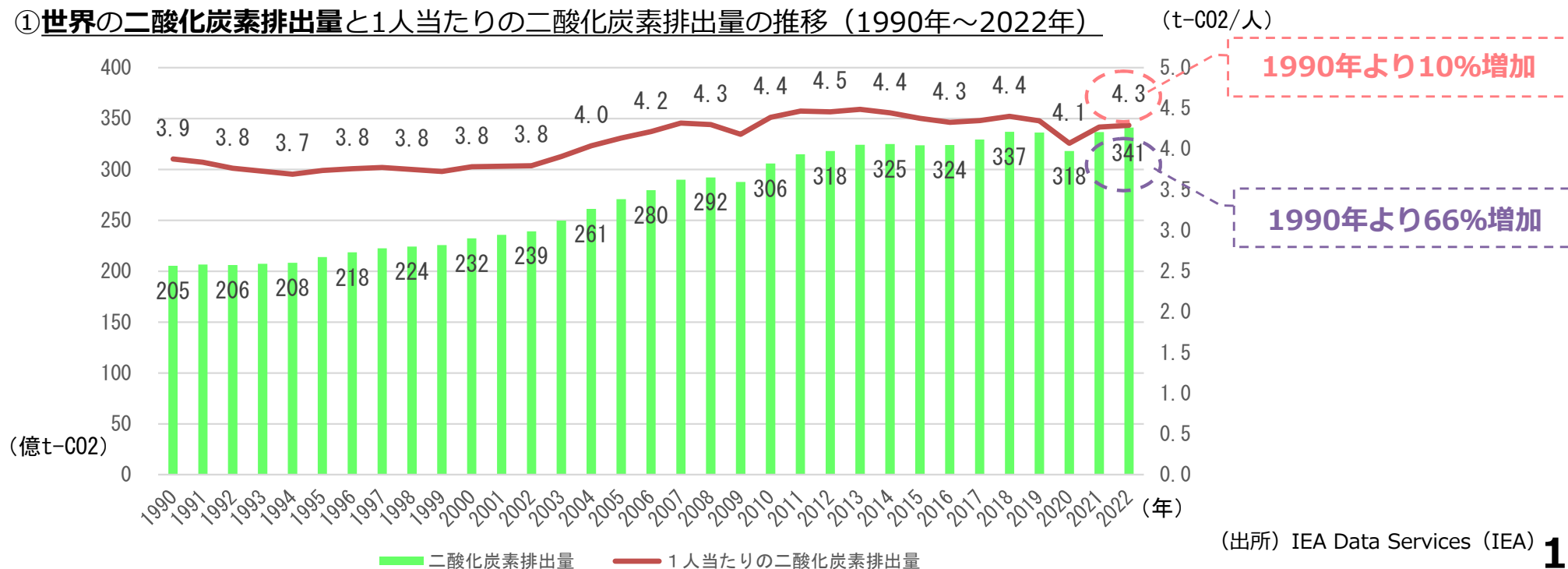
第三次産業中心の産業構造。
新型コロナウイルスによる、
落ち込みはあったものの、回復
傾向にある

(出所) 市町村民経済計算（岐阜県）

1 (6) 地球温暖化・気候変動

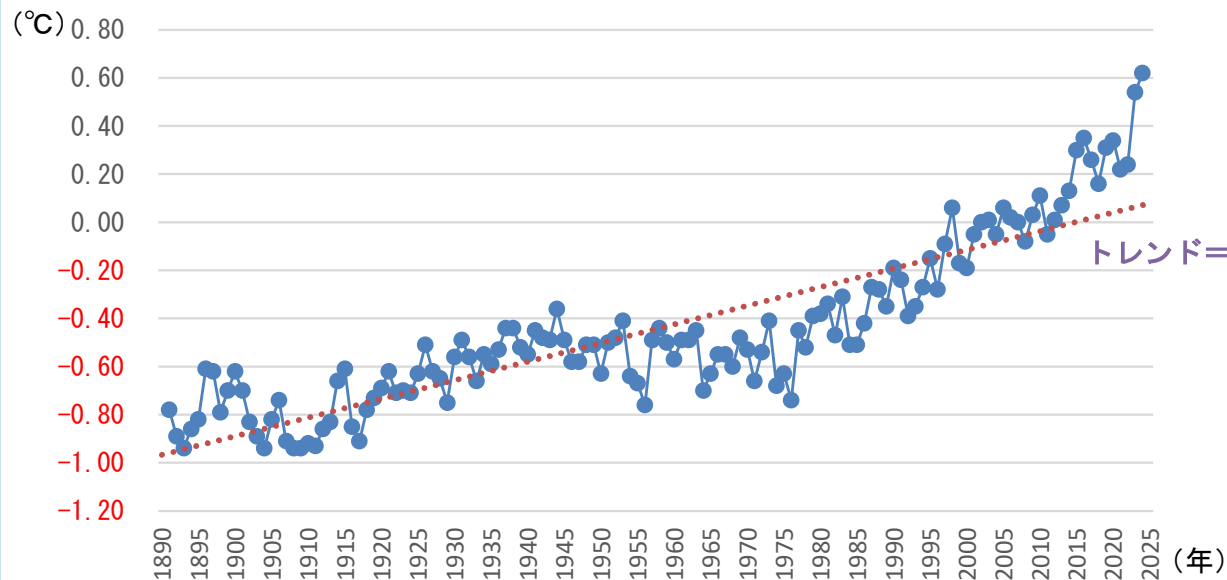
- ・ **世界全体の二酸化炭素排出量：年々増加** → **2022年時点で1990年比66%増加**（341億 t）
1人当たりの排出量も10%増（4.3 t /人）
- ・ **世界の平均気温：変動を繰り返しながら上昇** → **長期的には100年あたり0.77℃の割合で上昇**
特に**1990年半ば以降、高温となる年が多い**
- ・ **岐阜市の二酸化炭素排出量：全体として減少傾向** ↔ **民生家庭部門（個人世帯の活動）が最も多い**
運輸部門は減少傾向
- ・ **岐阜市の平均気温：上昇傾向** → **日最大降水量は年による変動が顕著**

① **世界の二酸化炭素排出量と1人当たりの二酸化炭素排出量の推移（1990年～2022年）**

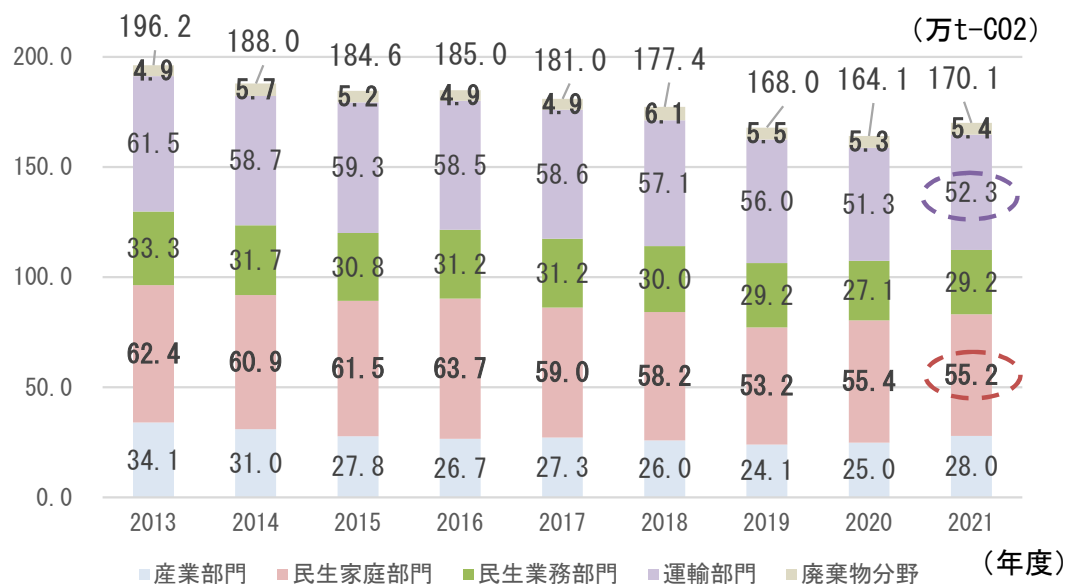


(出所) IEA Data Services (IEA)

②世界の年平均気温偏差の推移（1891年～2024年）

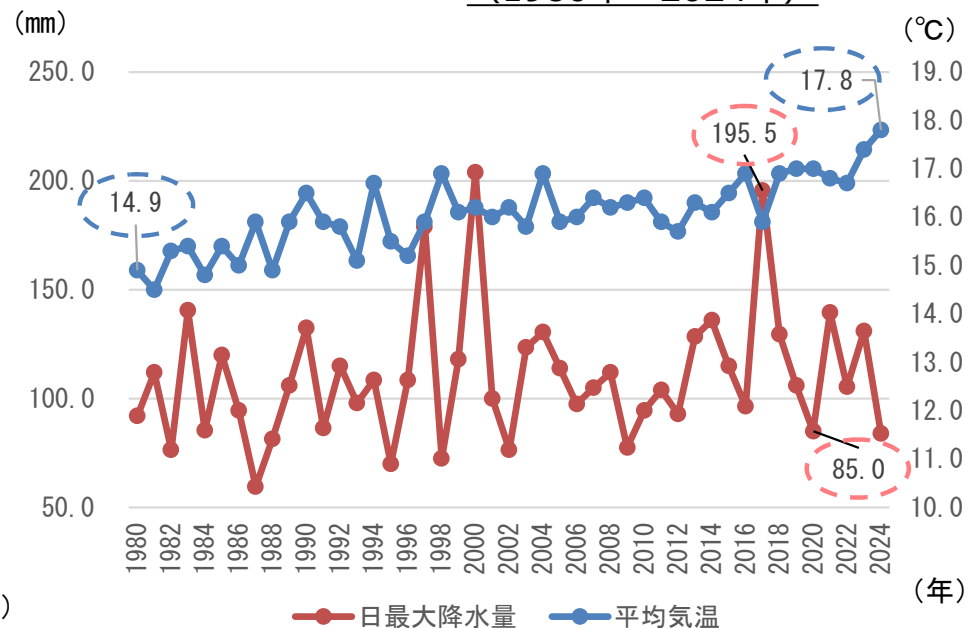


③岐阜市の部門別二酸化炭素排出量の推移（2013年度～2021年度）



(出所) 岐阜市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出状況について

④岐阜市の年平均気温・日最大降水量の推移（1980年～2024年）

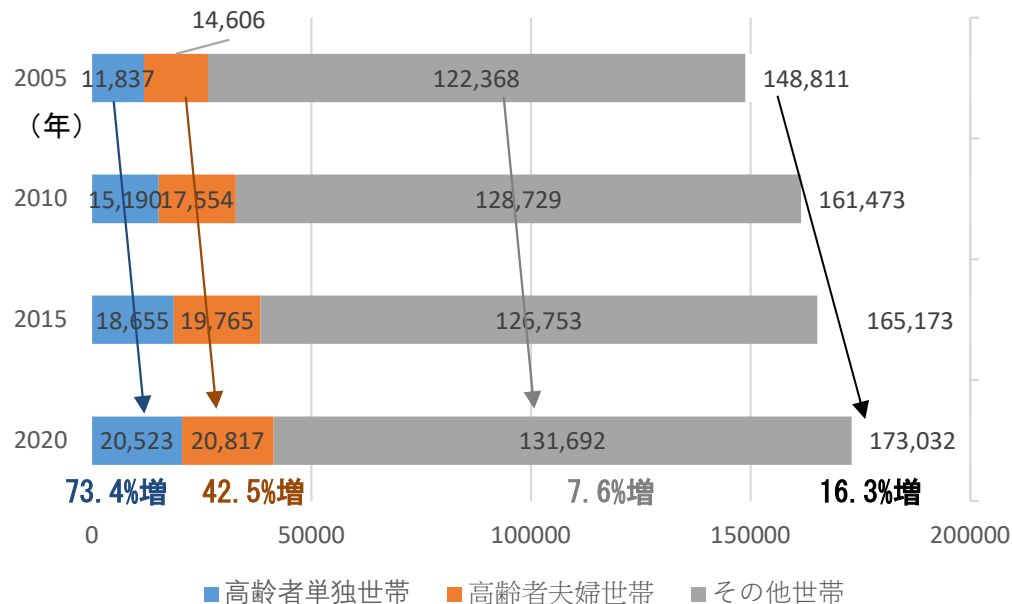


(出所) 過去の気象データ (岐阜地方気象台)

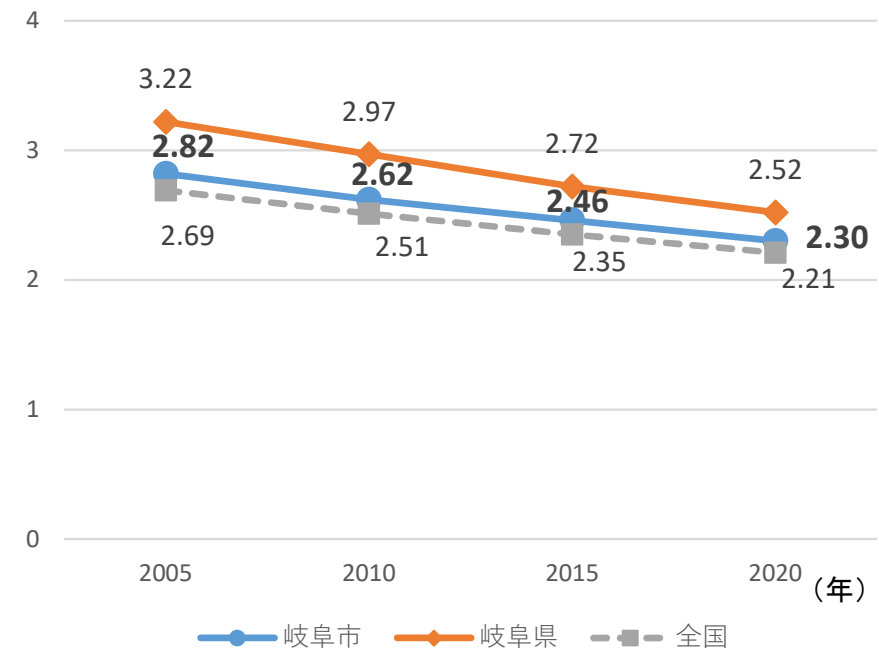
2 (1) 高齢者世帯

- ・ **岐阜市の世帯数の推移**：全体として上昇しており、特に**高齢者単独世帯**、**高齢者夫婦世帯**の上昇が顕著
高齢者単独世帯 2020年 20,523 (2005年比 73.4%増)
高齢者夫婦世帯 2020年 20,817 (2005年比 42.5%増)
- ・ 高齢者のいる世帯の平均世帯人員：2020年は2.30人と、岐阜県よりやや低く、全国と同程度で推移

①岐阜市の世帯数の推移



②岐阜市における高齢者のいる世帯の平均世帯人員の推移
(全国、岐阜県との比較)



2 (1) 要介護・要支援認定

・ 岐阜市の要介護・要支援認定者：年々増加

→ 2022年度時点で、24,474人（2018年度比：+2,162人、+9.7%）

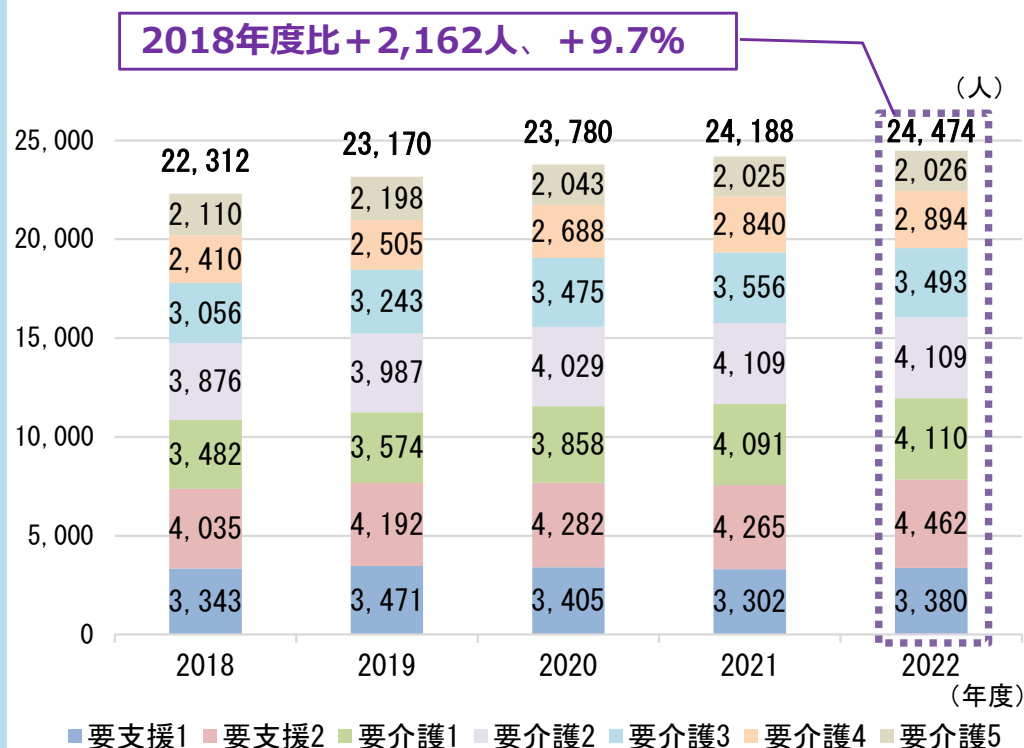
・ 要介護・要支援認定者構成比の要支援2及び要介護4は、2022年度が最も高くなっている

要介護5の割合：8.3%（2018年度比－1.2ポイント）

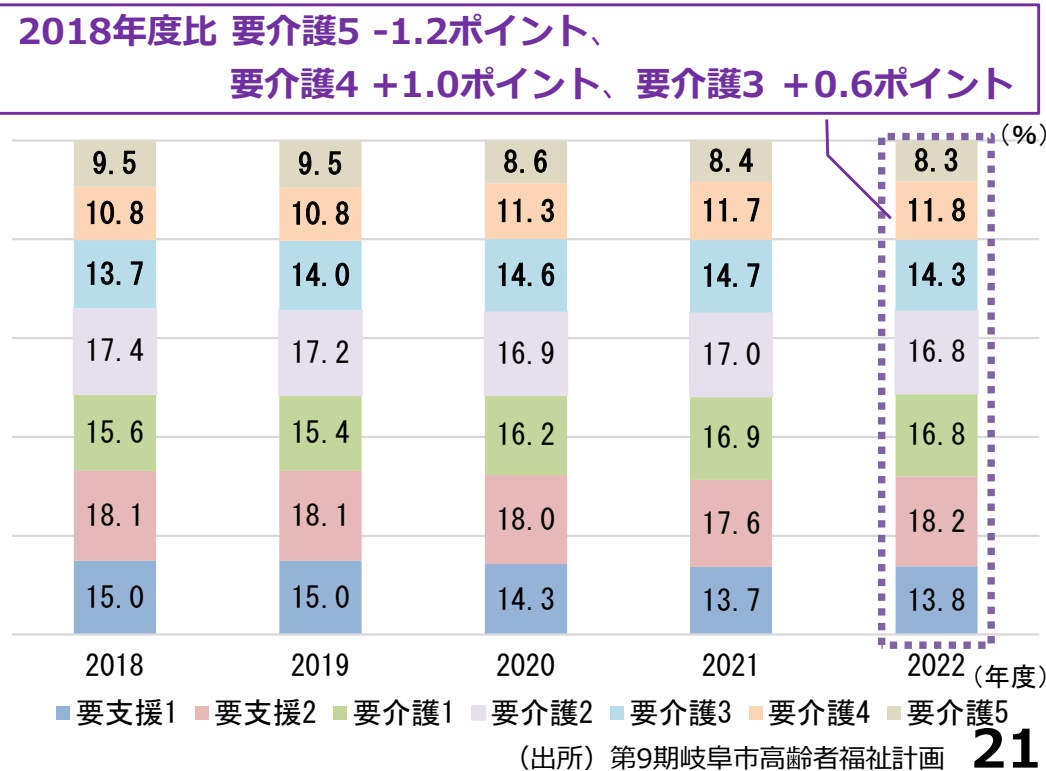
要介護4の割合：11.8%（同+1.0ポイント）

要介護3の割合：14.3%（同+0.6ポイント）

① 岐阜市の第1号被保険者要介護度別認定者数の推移
（2018年度～2022年度）



② 岐阜市の第1号被保険者要介護度別認定者構成比の推移
（2018年度～2022年度）



2 (1) 高齢者の生活拠点と在宅介護

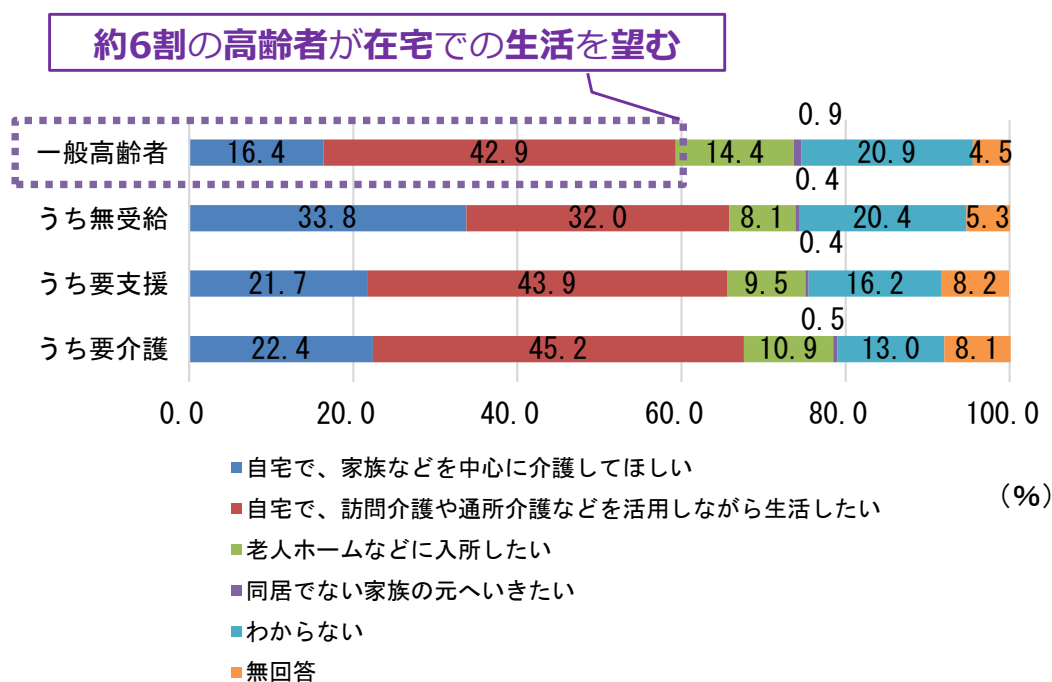
- ・ **岐阜市の高齢者が望む生活拠点**：全ての区分で、**自宅での訪問介護や通所介護等の活用が最も多く、次いで、自宅での家族などを中心とした介護が多い**

→ **2022年時点での一般高齢者（全体）の希望**：自宅での訪問介護・通所介護等の活用 **42.9%**、
自宅での家族等の介護 **16.4%**

⇒ **高齢者の約6割が在宅での生活を望む**

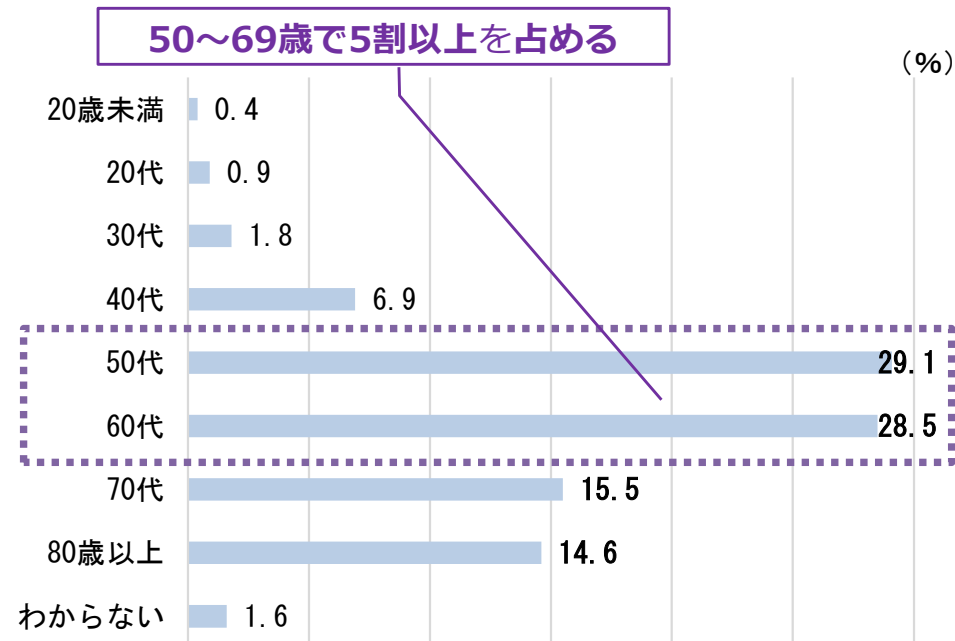
- ・ **岐阜市の在宅介護の介護者の年齢**：50代が29.1%と最も高く、60代が28.5%と、50～69歳で5割以上を占める。これに70代（15.5%）と80歳以上（14.6%）をあわせた「50歳以上」は9割弱となる

① 岐阜市の高齢者が望む今後の生活拠点の割合（2022年）



(出所) 岐阜市高齢者等実態調査

② 岐阜市の在宅介護における主な介護者の年齢の割合（2023年）



(出所) 岐阜市在宅介護実態調査 **22**

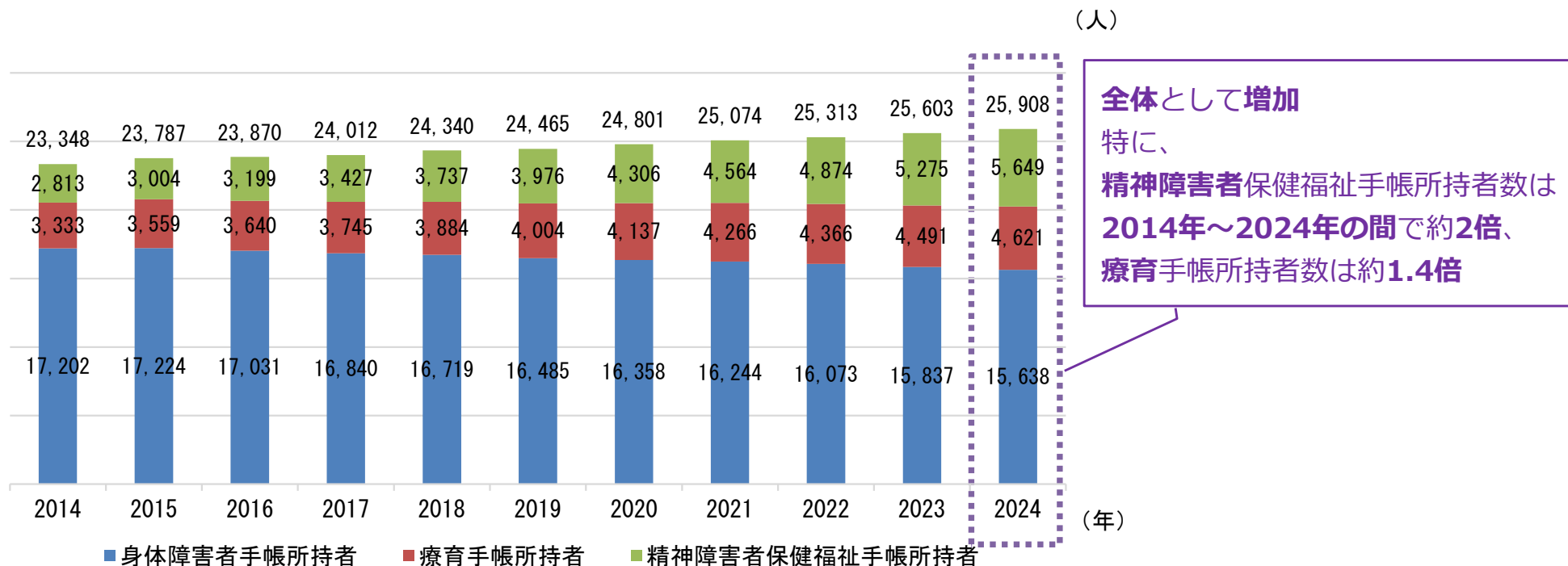
2 (1) 障害者手帳所持者

- ・ **岐阜市の障害者手帳所持者**：増加しており、特に**精神障害者保健福祉手帳**と**療育手帳**所持者数が大きく増加

2014年～2024年の間で、**精神障害者保健福祉手帳**所持者数は約**2倍**、**療育手帳**所持者数は約**1.4倍**に増加

→ **2024年時点**で、**障害者手帳所持者数（全体）**：25,908人、**精神障害者保健福祉手帳**所持者数：5,649人、**療育手帳**所持者数：4,621人

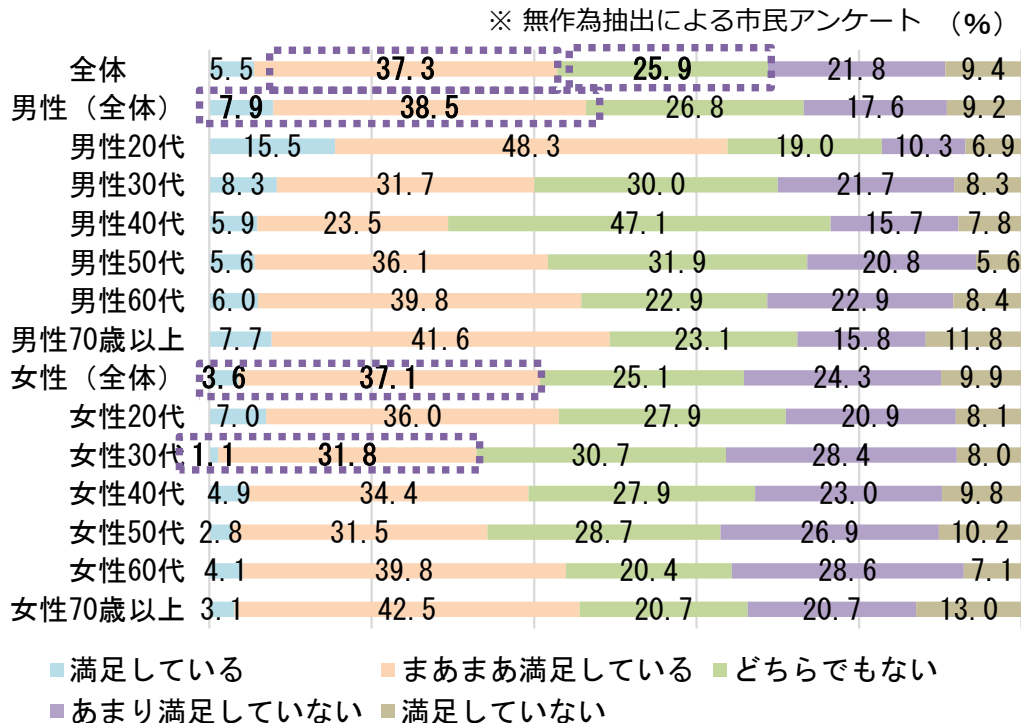
①岐阜市の障害者手帳所持者数の推移（2014年～2024年）



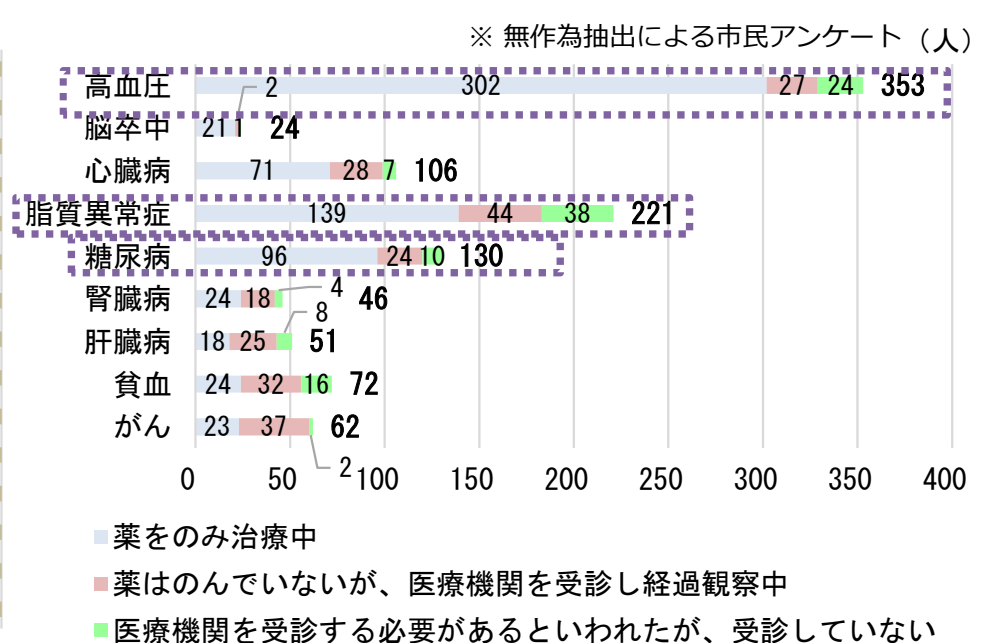
2 (1) 健康状態と疾病

- ・ 岐阜市民の健康状態の満足度：全体として「まあまあ満足している」が37.3%と最も多く、次いで「どちらでもない」が25.9%
性別でみると「満足している」「まあまあ満足している」の合計が男性46.4%に対し、女性は40.7%
年齢別もあわせてみると女性30代が32.9%と最も低い
- ・ 岐阜市民の病気の状況：疾病別の有病者の数は、高血圧が最も多く、次いで脂質異常症、糖尿病

① 岐阜市民の健康状態の満足度 (※) (2024年)



② 岐阜市民の病気の状況 (※) (2024年)



2 (1) 身体活動・運動

・ **岐阜市民の運動の状況：市民全体で運動をしている割合は4割強（44.1%）**

性別でみると**男性49.7%**に対し、**女性**は**39.3%**と低い
年齢別もあわせてみると**男性20代**が最も高く**6割程度**。

一方、**女性30代**は**24.1%**と低い

1週間あたりの運動の頻度は、**3回以上**が全体の**6割強（63.2%）**

性別でみると7回以上は**男性が16.1%、女性が18.2%**

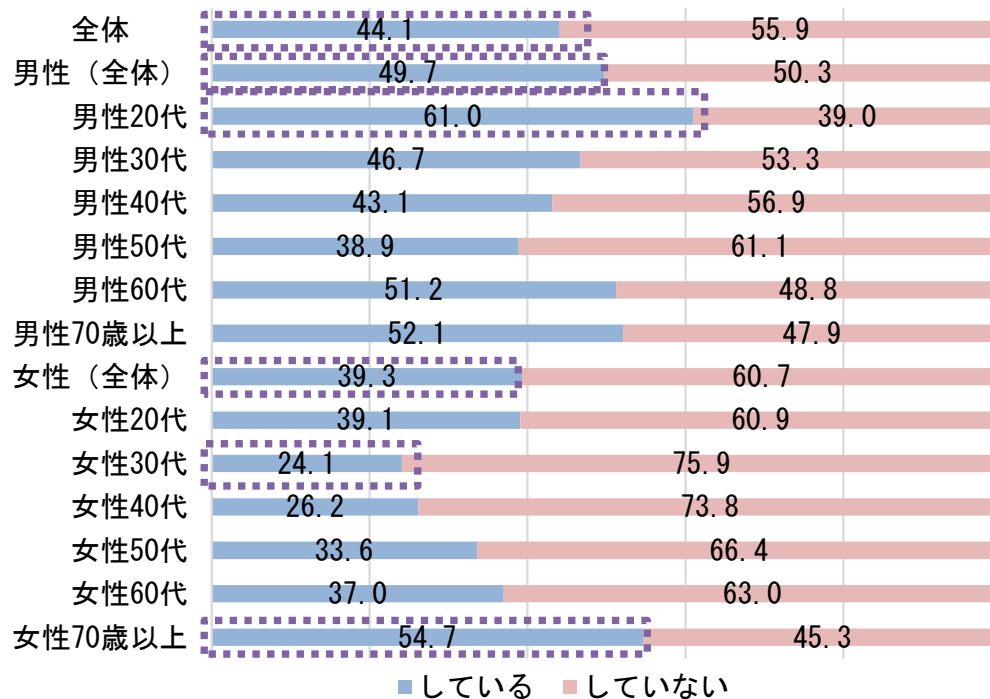
性・年齢別でみると7回以上は**女性50代**で最も高い

① 岐阜市民の運動やスポーツ（※1）をしている割合（※2）

（2024年）

※1 散歩などの軽い運動も含む

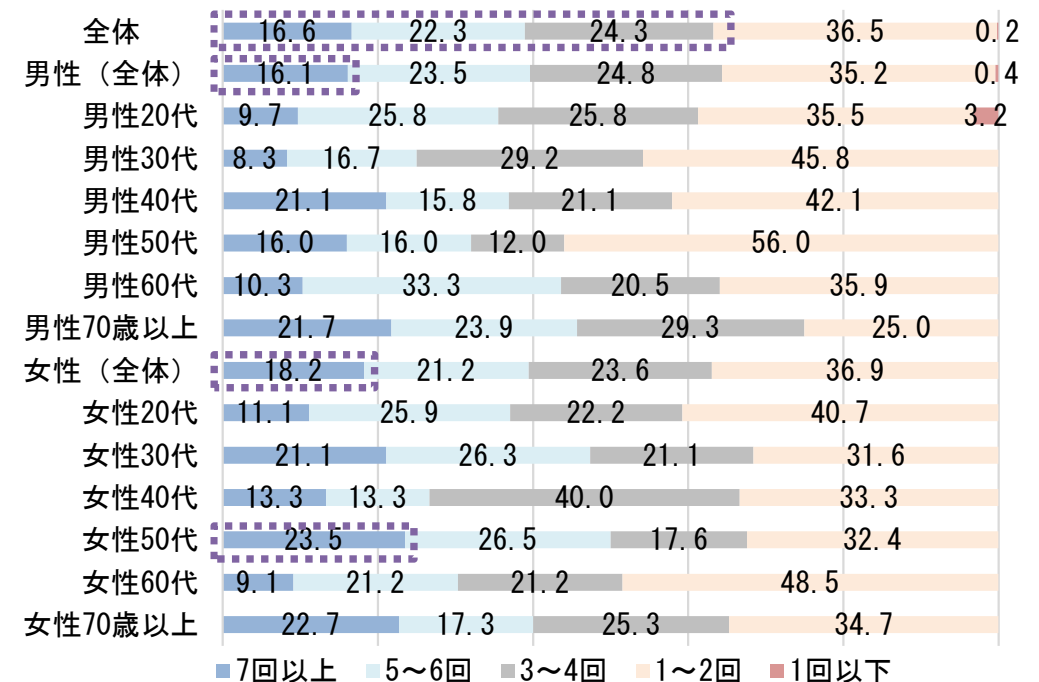
※2 無作為抽出による市民アンケート（%）



② 岐阜市民の運動やスポーツをする1週間あたりの頻度（※）

（2024年）

※ ①で運動をしていると回答した市民を対象とするアンケート（%）



2 (1) 医療環境

・ 岐阜市の医療環境：人口に占める医師数、病院数、病床数は同格の中核市の中で多い

一方で、病床利用率は中核市の中で低い

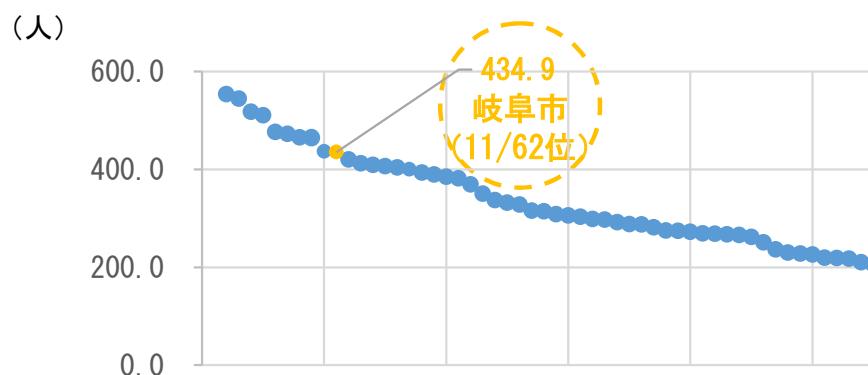
→ 2022年時点で、人口10万人当たり医師数：中核市62市中11位（434.9人）

2023年時点で、人口10万人当たり病院数：中核市62市中23位（7.8院）

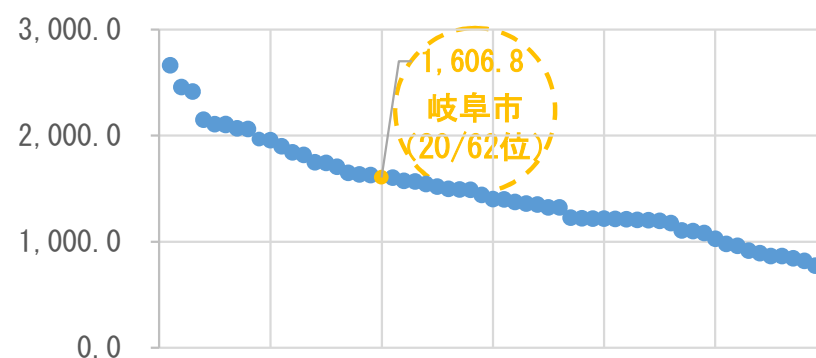
人口10万人当たり病床数：同20位（1,606.8床）

病床利用率：同53位（72.7%）

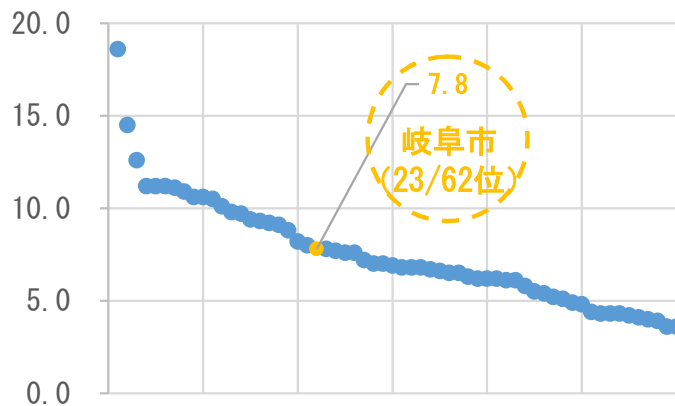
①中核市の人口10万人当たり医師数の分布（2022年）



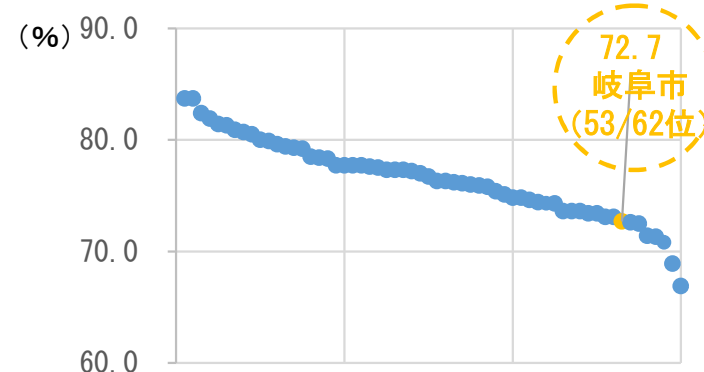
③中核市の人口10万人当たり病床数の分布（2023年）



②中核市の人口10万人当たり病院数の分布（2023年）



④中核市の病床利用率の分布（2023年）



(出所) ①医師・歯科医師・薬剤師調査、②～④医療施設調査・病院報告（厚生労働省）

2 (2) 健康づくりに関する近年の主な取り組み

クアオルト健康ウォーキング

野山の傾斜地形や冷気などを活用する運動療法を基に
考案された健康づくりのためのウォーキングの普及を図る

- ・働き盛りの人も効果が得られるように、より負荷がかかるコースを追加
- ・継続的な参加を促進するため、参加回数に応じて記念品を配布



表紙



裏表紙

【クアオルト×ウゴクテ連携事業】
継続的な参加の促進及び両事業の周知、
相互利用のため記録手帳を作成

柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」

岐阜市の中心市街地柳ヶ瀬にできた
柳ヶ瀬グラスル35の3階で
令和5年度から「健康運動施設」を運営

- ・トレーニングルーム・フィットネススタジオを設置
- ・ヨガ・ピラティス等の健康づくり教室の開催
- ・フィットネススタジオ等 を設置

健康・運動の「きっかけ」を提供し、
運動の習慣化を支援することで
生活習慣病予防、介護予防を図る



「クアオルト」と「ウゴクテ」を主軸とし、岐阜の健康づくりを推進

2 (2) 福祉に関する近年の主な取り組み

多様な働き方の実現

<超短時間雇用創出事業>

- ・障がいや難病で長時間の就労が困難な方に対し、週20時間未満の雇用を創出
- ・超短時間ワーク応援センターが、職務定義、協力企業の開拓、登録ワーカーと企業とのマッチング、職場定着支援を実施



高齢者の健康寿命の延伸

<全国健康福祉祭開催事業（ねんりんピック岐阜2025）>

（概要）

岐阜市の魅力の発信・にぎわいの創出により、県全体の活性化に繋げる

会 期 令和7年10月18日から21日（4日間）

内 容 岐阜県内全42市町村 56種目開催

岐阜市内で6種目開催

（テニス、弓道、水泳、ボッチャ、ミニテニス、ユニカール）

参加予定 延べ約60万人（観客含む）



<高齢者大学>

- ・65歳以上の高齢者に対し、各種講座を通じた生きがいづくり
- ・健康、環境問題、歴史、ボランティアなど多岐にわたるテーマで開催

誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり

<ひとり暮らし高齢者ガイドブックの発行>

ひとり暮らしの高齢者等が、生活の不安をなくし、安心して暮らせるよう、各種サービスや相談窓口を紹介。ガイドブックを、希望者に無料で配布



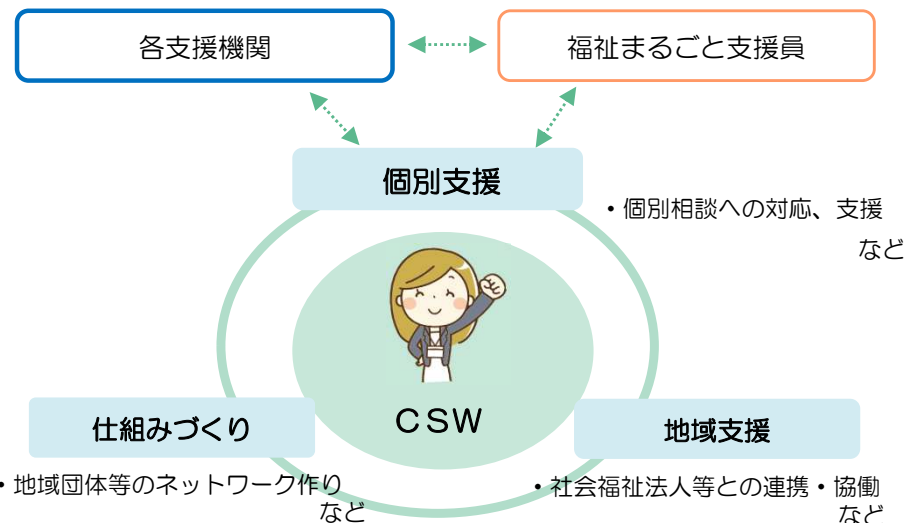
<ひとり暮らし高齢者等安否確認支援事業>

ひとり暮らし高齢者等の自宅に感知センサー又は見守り電球を設置。1日程度、センサーや見守り電球に反応がないときは、事前に登録した協力員に、電話やメールで安否確認を依頼。

誰もが支え、支えられる社会の実現

<コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置>

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域住民や地域の担い手、地域団体や企業などの「つなぎ役」となり、地域福祉をネットワーク化する



2 (2) 福祉や医療に関する主な方針

「福祉」に関する主な方針

【地域福祉推進計画】

- ・福祉の各分野における共通的な事項を記載する上位計画
- ・基本理念「手をつなごう 誰もが安心していきいきと心豊かに暮らせる 市民が主役のまちづくり」

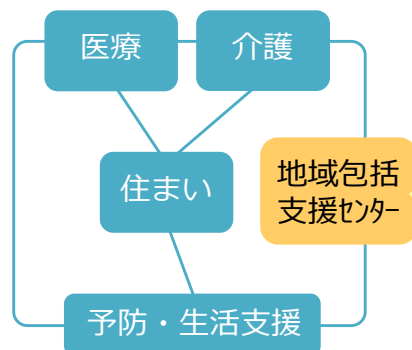
【高齢者福祉計画】

- ・2025年、団塊の世代がすべて75歳以上
- ・**2040年**、団塊ジュニア世代が65歳以上
→ **高齢者数がピーク**を迎えると推計されている
→ 高齢化率が極めて高い**超高齢社会が続く**見込み

⇒ 基本理念「**高齢者の一人ひとりが生きがいを持ち、地域で安心して暮らせる社会の創造**」

(地域包括ケアシステム)

- ・高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう、**医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される体制**



- ・市内に**19か所**
- ・「地域包括ケアシステム」を深化・推進するため、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの区域ごとに「日常生活圏域」を設定

「医療」に関する主な方針

【岐阜市民病院経営強化プラン】



- ・2025年、団塊の世代がすべて75歳以上
→ **高齢化の進展**による**医療費の増大**が見込まれる

▼岐阜市民病院の将来像（基本方針）

＜公立病院の役割＞

小児科・精神科医療を含む幅広い医療や救急医療・新興感染症医療、災害時の救命医療を提供

＜急性期病院の役割＞

地域の医療機関と連携し専門的な手術、がん医療など先進的かつ高度な医療を提供

地域に必要不可欠な医療を提供し、**市民にとって「最後の砦」となる役割を果たす**ため、6つの取組の柱により**経営を強化**

- 1] 役割・機能の最適化と連携の強化
- 2] 人材の確保・育成と働き方改革への対応
- 3] 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
- 4] 施設・設備の最適化
- 5] 組織のあり方検討と働き甲斐のある職場づくり
- 6] 経営の効率化等

(岐阜県地域医療構想)

- ・「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」制定
→ 効率的かつ質の高い**医療提供体制**の構築、**地域包括ケアシステム**の構築を通じて、
⇒ **地域の医療及び介護の総合的な確保を推進**
- ・岐阜医療圏：岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町